



TSK

きゅうどまちや



No.72

発行：東北障害者団体定期刊行物協会 〒980-0874 宮城県仙台市青葉区角五郎1-12-6

編集：社会福祉法人求道舎 〒039-2516 青森県上北郡七戸町字館野32-15

TEL : 0176-62-3631 FAX : 0176-62-3694 E-mail : kyudosya@ruby.ocn.ne.jp

ホームページ : <http://www.kyudosya.jp>



『神のみわざがこの人に』

新生釜石教会牧師 柳谷 雄介



2023年8月、ブリストル
大聖堂で聖歌隊に参加

になる何十年も前のことです。当時の高松さんと同じ年になった現在、暗譜して奏楽することがいかに大変なことなのかを思い知られています。

20年くらい前、大阪の教会に通つている時、筋ジストロフィー症の宮阪くんという同じ年の友人がいました。知り合った時にはすでにベッドの上に寝たきりの生活でした。宮阪くんは、車いすに乗つていた頃に、ひっくり返つて人工呼吸器がはずれて生死の境を彷徨つたことがあります。それ以来、

神の声が聞こえると言うのでした。「柳谷くんは牧師になるよ。俺は、祈りで牧師を支えろと神から命令されているんだ。」と笑つて話してくれました。ある日、その預言が実現して、私は牧師になつたのでした。

イエス・キリストは、「障がいは、罪の裁きではない」と言います。障がいは、神のみわざが現れるためと言います。障がいを持つ方々は、人生の深みを教えてくれる先生なのです。

障がいを持つ方々が私たちの先生であることは、どういうことでしょうか。先述のような私の体験からは、障がいを持つているからこそ、私たちが失いがちな感性を保持していく、人間の可能性を開いてくれると思っています。私たちは、成長過程で、子どもの時に持っていた豊かな感性を失っています。でも、いわゆる障がいを持っている方は、その障がいのゆえもあって、ピュアだったり鋭い感性を持ったまま生きておられます。障がいを持っているからこそ、人を頼り、人と人とのつなぐ役割を担う方もおられます。脳性麻痺を負つて生まれた東大教授の熊谷晋一郎さんは、「自立とは、誰にも依存しないことではなく、依存先を増やすこと」だと言っておられます。人とながることは人間としてとても大切な根源的な欲求です。

障がいを持つ方々と出会つた私たちも、その方々を通さなければ受けることのできなかつた祝福を受けているのではないかでしょうか。もちろん、他人から受けた偏見もあります。自分自身が陥っている思い込みもあります。現時点では、しあうがないかもしれません。その先、そこから解放された先に、すべての命が尊ばれ、すべての命が輝く未来が待つていて信じています。障がいをもつてている方々が暮らしやすい社会は、誰にとっても生きやすい社会になっているはずだからです。

弟子たちがイエスに尋ねた。「先生、この人が生まれつき目が見えないのは、誰が罪を犯したからですか。本人ですか。それとも両親ですか。」

イエスはお答えになつた。「本人が罪を犯したからでも、両親が罪を犯したからでもない。神のみわざがこの人に現れるためである。(ヨハネによる福音書9章 2~3 節)

私が子どもの頃、父が牧師をしていた大船渡教会に高松さんといふ、目の見えないオルガニストがいました。点字で、聖書も贊美歌の楽譜も読まれました。「点字の

オルガン楽譜は、パート毎に音符が並んでいるのよ。(歌いながら)これがメロディ、これがバス、あとアルトとテノールと一緒に弾けば四声和音で弾けるわ」と教えてくれました。礼拝で奏楽される時、両手でオルガンを弾くためには、点字の楽譜に触れることができません。当然のように暗譜して来られるのでした。私は高松さんを見て、鍵盤を見なくてもオルガンを弾けるものだと知つたのみならず、高松さんの奏楽は、目が見えないからこそ、見えるよりも研ぎ澄まされた、豊かな音楽を奏でられるのだと学びました。ピアニストの辻井伸行さんが有名

にならぬ何十年も前のことです。当時の高松さんと同じ年になった現在、暗譜して奏楽することがいかに大変なことなのかを思い知られています。

20年くらい前、大阪の教会に通つている時、筋ジストロフィー症の宮阪くんという同じ年の友人がいました。知り合つた時にはすでにベッドの上に寝たきりの生活でした。宮阪くんは、車いすに乗つていた頃に、ひっくり返つて人工呼吸器がはずれて生死の境を彷徨つたことがあります。それ以来、神の声が聞こえると言うのでした。「柳谷くんは牧師になるよ。俺は、祈りで牧師を支えろと神から命令されているんだ。」と笑つて話してくれました。ある日、その預言が実現して、私は牧師になつたのです。

イエス・キリストは、「障がいは、罪の裁きではない」と言います。障がいは、神のみわざが現れるためと言います。障がいを持つ方々は、人生の深みを教えてくれる先生なのです。

障がいを持つ方々が私たちの先生であることは、どういうことでしょうか。先述のような私の体験からは、障がいを持つているからこそ、私たちが失いがちな感性を保持していく、人間の可能性を開いてくれると思っています。私たちは、成長過程で、子どもの時に持っていた豊かな感性を失っています。でも、いわゆる障がいを持っている方は、その障がいのゆえもあって、ピュアだったり鋭い感性を持ったまま生きておられます。障がいを持っているからこそ、人を頼り、人と人とのつなぐ役割を担う方もおられます。脳性麻痺を負つて生まれた東大教授の熊谷晋一郎さんは、「自立とは、誰にも依存しないことではなく、依存先を増やすこと」だと言っておられます。人とながることは人間としてとても大切な根源的な欲求です。

2023年度決算を拡大鏡で見る

理事長 小原 義夫

勘定科目		決算	備考
事業活動による収支	就労支援事業収入 (落花生製品)	11,246	④
	障害福祉サービス等事業収入 (受託事業収入)	2,210	
	(補助金事業収入)	136,444	③
	経常経費寄付金収入	724	②
	その他の収入	1,000	①
	事業活動収入計	2,545	
		548	
		150,783	
	事業活動支出計	129,054	
	事業活動資金収支差額	21,729	
設備整備による収支	赤い羽根協同募金	280	⑤
	中央競馬馬主社会福祉財団	2,260	⑥
	施設整備等収入計	2,540	
	施設整備等支出計	28,929	
	施設整備等資金収支差額	△ 26,389	
その他の活動による収支	長期貸付金回収	10,748	⑦
	積立資産取崩収入	6,508	⑧
	その他	468	
	その他の活動収入計	17,724	
	その他の活動支出計	2,862	
	その他の活動資金収支差額	14,862	
当期資金収支差額合計		10,202	

（ ）付きは内数

した。

本稿では、求道舎の台所事情を共有するために、普段みなさまには馴染み薄い分野かも知れませんが、決算内容を拡大鏡で細かいところまで見てみることにいたします。本文に入るために、2023年度も多くの方々に支えられて一年を終えることができました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

（1）2023年度の事情

2023年度に特別だった事情は次の通りです。

（イ）コロナ禍の継続と一般化：新型コロナ感染の波が身近に押し寄せ、画作業所、グループホーム共、各々数日間の閉鎖を余儀なくされ、収入減になりました。

（ロ）野辺地グループホームの建設開始：多額の建設費が支出されましたが、普段みなさまには馴染み薄い分野かも知れませんが、決算内容を拡大鏡で細かいところまで見てみることにいたします。本文に入るために、2023年度も多くの方々に支えられて一年を終えることができました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

（2）収支結果

表をご覧ください。事業活動資金収支、当期資金収支とも黒字です。

（3）黒字で終えられた要因（数字）は表の備考欄の数字と一致します。

本業である事業活動（利用者の支援活動）の範囲では、①外部の方々からの寄付金、②県からの物価高騰補助金、③県からの「農福マルシェ」の委託事業などに助けられました。

また利用者たちの収入を確保する授産活動では、想定していた通り、外部実習の収入が減りましたが、④自主製品（落花生関連製品）の成長でカバーすることができました。事業を継続するための施設や道具の維持に関する施設整備の範囲では、⑤赤い羽根共同募金からの補助金、また幸運にも⑥中央競馬馬主社会福祉財団からの車購入のための無償補助金が決まりました。その他の活動の部分では、とても大きかったのは、⑦長期の貸付金がこちらの譲歩と相手方の誠意によりほぼ予定に近い形で大幅に返済されたことです。これらに加えて必要時のために備えていた⑧積立金を取り崩して支出に当てました。

求道舎にとって一番大事なことは、利用者たちに良い支援が出来たかどうかです。しかし、良い支援はお金の支えが無いと出来ません。お金は土台なのです。

昨年度の決算が出来ました。例年の通り、6月の理事会と評議員会でご承認をいただきましたので、一年が正式に終了しました。資金収支の結果は、別掲の表でお分かりの通り、1,000万円ほどの黒字となっていますが、実は2023年度は、資金的には嵐の様な一年だったのです。偶然もあり、多くのことが積み重なっていますが、実は2023年度は、資金的には嵐の様な一年だったのです。

2023年度に特別だった事情は次の通りです。

（イ）コロナ禍の継続と一般化：新型コロナ感染の波が身近に押し寄せ、画作業所、グループホーム共、各々数日間の閉鎖を余儀なくされ、収入減になりました。

（ロ）野辺地グループホームの建設開始：多額の建設費が支出されました。幸運にも⑥中央競馬馬主社会福祉財団からの車購入のための無償補助金が決まりました。その他の活動の部分では、とても大きかったのは、⑦長期の貸付金がこちらの譲歩と相手方の誠意によりほぼ予定に近い形で大幅に返済されたことです。これらに加えて必要時のために備えていた⑧積立金を取り崩して支出に当てました。

した。

（ハ）おおばこ作業所授産の業務の改革…主力であった長芋の皮むき作業に全面的に依存するリスクを考え、仕事の多角化に挑戦しました。

（4）一年間でやれたこと

（イ）収支の黒字（お金が残りました）

（ロ）授産収入（利用者給料）の維持

（ハ）おおばこ作業所内の壁紙の張り替え。（職場が明るくなつた）

（二）送迎車の充実（1台増）

（ホ）GHたんぽぽの屋根の大規模補修（雨もり解消）

（ヘ）野辺地GH（グループホームクローバー）の建設着手（お隣の森ウメさんが寄付をしてくださいました）

（5）やれなかつたこと

（シ）サービス事業所等認証評価制度）取得…これは県がこの制度を廃止したことによります。しかし取得準備を本格的に始めていましたので、人事考課規程や給与規程など改訂し、成績は挙がっています。

今回の「報告は少し細かすぎたかも知れません。しかし、こうした細かな一つ一つのことが、積み上げられて全体の業績が出来上がっていることをご理解いただくためには、参考になつたのではないでしようか？これからも一つ一つの活動に心を込めて努力して参ります。変わらぬご支援をお願いいたします。

おおばこ作業所

この度、中央競馬馬主社会福祉財団から助成金の交付を受けて、送迎用の車両を購入することがで
きました。

おおばこ作業所がある地域はバスなど
の公共交通手段が少なく、自動車がなければ移動することが困難な所です。そのためほとんどの方が作業所の送迎車を利用しています。

遠い所では、行って帰って約50km。
朝夕の2回の送迎で一日100kmの走行



購入した車両。雪国なので当然4WD車です。助成のプレートは玄関に掲示しています。



プチ運動会



馬と



温泉



海岸で



食事



買い物

となりますので、車両の消耗もなかなかのもので、今まで何台もの車を乗り継いできました。

今回の助成で新車を購入できたことは大変ありがたいことでした。改めて感謝申し上げます。

【みんなで外へ出かけよう!!】 仕事の合間、心身のリフレッシュを図るために、外出してレクリエーションを実施しました。小グループでは、それぞれ買い物や食事、水族館や温泉を楽しみました。

そして、久しぶりにみんなでプチ運動会（小川原湖青年の家）や馬とのふれ合い（駒っこラン）も楽しみました。やっぱり「みんなでレクリエーション」はいいものですね。

【みんなで外へ出かけよう!!】

私は、久しくぶりにみんなでプチ運動会（小川原湖青年の家）や馬とのふれ合い（駒っこラン）も楽しみました。やっぱり「みんなでレクリエーション」はいいものですね。

クローバー作業所



食事の介助・見守りをしています！



生活介護では、作業が出来る利用者さんへの支援や余暇時間に行う創作活動などの他にも食事・入浴・排泄の介助や医療的ケアなど利用者一人ひとりのニーズに沿った支援を行っています。



痰吸引を行っている様子



余暇活動の様子



作業がんばっています!!作業のお手伝いもします♪



【新年会＆お花見】
今年の新年会も利用者レクとして所内で開催しました。かるた大会やお菓子釣り、ビンゴゲームを行い、利用者さんも職員も楽しい時間を過ごしました。また、今年は加井榛華さんが20歳を迎えたので、成人のお祝いも一緒に行いました。加井榛華さん、おめでとうござります！



4月には親の会レクで久しぶりにすたみな太郎と合浦公園に行きました。すたみな太郎ではお腹いっぱいになるまで食事を楽しみ、合浦公園では綺麗な桜を見ることが出来て、大満足のレクになりました。

次回は、夏にバーベキューを予定しています。たくさんお肉を食べて、暑い夏を乗り切りましょう！



利用者紹介

◎鎌田 幸汰郎さん
(クローバー作業所)



オングラズマンの紹介②

クローバー作業所のオンラインマッチングは2名おり、毎月交代で来所していくいただいています。今回は遠藤章子さんを紹介します。

遠藤さんは普段は青森県手つなぐ育成会事務局にお勤めし、研修や障がい児・者の地域活動支援の企画・運営等を行っています。ク



オンブズマンの紹介②

「ツキヤツブ折りを頑張つていま
す。素敵に見せるようにもっと色
んなことを頑張つて、たくさん褒

ローバーでの面談時も利用者さんの困り事に、的確かつ分かりやすくアドバイスをしてくれます。

編集後記

社会福祉法人求道舎

◎七戸町 おおばこ作業所（就労継続支援B型）

TEL:0176-62-3631
グループホームたんぽぽ
TEL:0176-60-8012

◎野辺地町
クローバー作業所（就労継続支援B型）
生活介護事業所クローバー
相談支援事業所クローバー
TEL:0175-64-7559



野辺地地区グループホーム 建設事業報告

春を迎えた建物本体の建設が始まりました。基礎の上に柱が立ち、根に覆われました。外壁に囲われ、内部も仕切れられ、部屋の様子がうかがえるようになります。立体的なイメージができ上がつきました。見に行くたびに完成に近づいていくのが樂しみな状況です。



処分では済まない大きな課題が突き付けられています。▼今年も暑い季節がやつてきました。そんな中で作業に取り組んでいる利用者さんや職員。「働くって大変だなあ」と実感します。皆様も「自愛ぐたせ」とおせ。（伊瀬谷秀史）